

広島市植物公園

見どころ案内

巨大めどリスタンツリー
在来内特集号

ヒゴタイ (キク科)

昔は盆花に利用されるほどたくさんあったようですが、今は絶滅しような植物です。学名のエキナスは、ウニまたはハリネズミに似たものという意味だとか。紫色のウニがいっぱいあります。

オミナエシ (オミナエシ科)

秋の七草の一つです。ヒゴタイの紫の花と比べると、黄色い花が目立ちます。

ヒマワリ (キク科)

レストラン前の迷路のヒマワリはおかっています。ここは咲きはじめばかり。みんな池の方を向いています。

ミスレゴ (フトモモ科)

大温室2階の奥にあります。熱帯のおいしい果物です。見た目はトマトですがリンゴのような食感だとか...

マンゴー (ウルシ科)

大温室2階の鉢植えです。実がたくさんなっています。すごく大きいもの小さいものがあります。かぶれることがありますので、さわらないでください。

千工ウキレン 地湧金蓮 (バショウ科)

バショウの仲間です。漢字の意味のまま、地面から湧いた金色の蓮のような花です。ハスの花びらのようなのは苞葉です。苞葉の元に小さい花が咲いています。はじめに雌花が咲き、苞葉がはがれて段々と上へ咲きすすむと、今度は雄花が咲きます。2本ある花は、咲きはじめの時期がちがうので、それぞれ雌花と雄花が見られます。

ミナツキ (ユキシタ科)

ノリウツギの園芸品種です。花房のほとんどが装飾花なので、はなやかです。

ノリウツギ (ユキシタ科)

和紙をすくときのノリに樹液をド利用したのが名がつけました。原種のノリウツギのほか、園芸品種のユニークとタルティバが咲いています。

アマビヤ (クマ科)

小さいイチジクのような実(花)がたくさんついています。名前はビヤですが、イチジクの仲間です。

オオオハコ (スイレン科)

体重30gまでさせることができる大きな葉をもちます。

巨大カボチャ (ウリ科)

広島市植物公園のゾウのフンを堆肥にして育てています。とれたカボチャは、ゾウにプレゼントします。

モクレン 柱性バゴニア (バゴニア科)

高さ4mにもなる巨大バゴニアです。

巨大ヒマワリ (キク科)

日本一をめざして土作りからがんばりましたが、今年は6m20cmだそうです。日本一には届かないかも...

アサガオの巨大カーテン (ヒルガオ科)

宿根性のノアサガオの園芸品種で作った巨大なグリーンカーテンです。花は朝、青色で、夕方、赤紫に変化します。

